

『進級試験』の準備と友人の学業

——進級試験に向けて——

この学期の終りまで、私は勉学と並んで、進級試験の準備に努めた。この試験は、私の学業の進歩を測るための重要な試金石である。試験の内容は、基礎知識の定着と、応用能力の向上を目的としている。試験の準備には、まず基礎知識の整理が不可欠である。教科書の隅々まで読み込み、重要な概念や定理を整理し、理解を深めなければならない。また、過去問の演習も非常に効果的である。過去問を解くことで、試験の傾向や難易度を把握し、自分の弱点を特定することができる。試験当日は、十分な休息と栄養を確保し、平常心で臨むことが大切である。試験結果は、自分の努力の成果を客観的に評価する機会である。結果が好ましくなくても、それは単なる一つの通過点に過ぎない。失敗を教訓とし、次の学期に向けてさらなる努力を怠らぬよう心がけよう。

友人の学業についても、最近の進歩が著しいと感じる。友人は、常に勉強の姿勢を崩さず、授業中の質疑応答も積極的に行っている。友人の勉強法は、体系的で、効率的である。友人は、まず教科書の目次から全体の構造を把握し、その後、各章の内容を順番に読み進めている。また、友人は、自分の理解が深まらない箇所を、積極的に先生や先輩に質問している。友人の努力は、私にも大きな刺激を与えている。友人の進歩を、自分自身の目標とするべきである。友人の勉強法を参考に、自分自身の勉強法を改善し、進級試験に備えよう。

進級試験の準備と友人の学業

日本大学 津田 行 謹啓

1924